

関係学校長 様  
特別支援学級担当者 様

一般社団法人 Arts and Sports for Everyone  
代表理事 吉田 祐一

### 楽球甲子園の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。障がい者の芸術とスポーツ活動を支援する、本団体では昨年引き続き、熊本県内の特別支援学校・学級の児童・生徒さんとスペシャルオリンピックスのアスリートを対象としたボッチャ大会「楽球甲子園」を下記の通り開催することといたしました。日頃、スポーツ大会に参加する機会の少ない特別支援学校・学級の児童生徒の皆さんにスポーツの楽しさを感じていただくと同時に生徒児童の皆さんの交流の機会になれば幸いです。ぜひたくさんの方々に参加いただければ幸いです。

なお、事前に体験会などの開催を希望される場合には対応しますので、ご連絡ください。

### 記

- 主催 一般社団法人 Arts and Sports for Everyone
- 後援 熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本県障害者スポーツ・文化協会、マスコミ各社他（予定）
- 協力 熊本ボッチャ協会
- 日時 令和元年7月7日（日） 午前10時～16時（予定）
- 場所 グランメッセ熊本 2F コンベンションホール  
〒861-2235 熊本県上益城郡益城町福富 1010
- 対象者 熊本県内の特別支援学校・学級の児童生徒の皆さん、スペシャルオリンピックス日本・熊本のアスリート
- 参加費 1人 500円（当日、受付にて徴収します）
- 内容 ①開会式 ②模範演技 ③個人戦（団体戦のグループ分けの資料となります）  
④昼食・アトラクション ⑤団体戦 ⑥閉会式
- チーム構成 1チームを3人～4人で構成します。3人のメンバーが揃わない場合、個人での申し込みも可能です。他の個人の方と当日チームを組んで団体戦にも出場してもらえますようにします。また、個人戦のみでの参加も可能です。団体戦は、個人戦の得点を参考にして、同じ技量のチーム同士で対戦できるように工夫します。障がいの種類や年齢に関係なく、グループ分けします。
- 部門 正規コート（6m×12.5m）で行うチャンピオンシップの部とミニコート（4m×8m）で行うフレンドシップの部があります。
- 表彰 個人戦は部門ごとの優勝者、団体戦は各グループの優勝チームに賞状と賞品を贈呈します。なお、参加いただいた方全員に参加賞があります。
- ルール 別紙のようなルールで行います。
- チーム数 24チーム程度 1校からのチーム数の制限はありません。
- 申込 別紙申込用紙に必要事項を記入し、6月24日（月）までにASE事務局あてにFAXかメールで申し込んでください。
- 引率 チームごとに1名の引率者をお願いします。引率者は教員・保護者などチームのメンバーの障がいや健康状態をよくご存知の方をお願いします。
- 携行品 昼食、飲み物、運動のできる服装で参加ください。
- その他 ①会場にはエアコンが入っています。それを踏まえて体温調節のしやすい服装を準備してください。  
②参加される方には保険をかけます。また、開催中は医師と看護師に詰めていただきます。  
③会場のレストランを利用することも可能です。  
④床はじゅうたんになっていますので、日頃練習されている体育館とはボールの転がりなど違うかもしれませんが、練習の時間も確保します。  
⑤応援に来られた方など来場された方みんなが楽しめる体験会も実施する予定です。



## 大会ルール

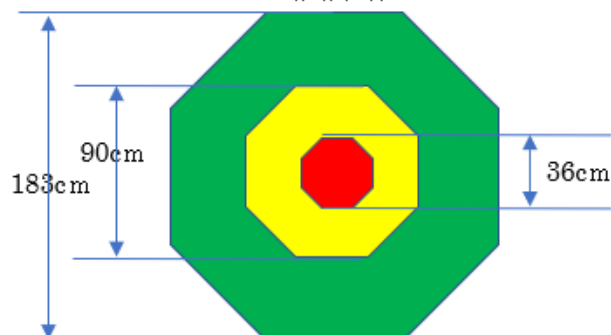
### (個人戦について)

- 1 別紙に示す八角的を使います。八角的の中心はクロス（チャンピオンシップの部ではスローラインから5m、フレンドシップの部では4mの地点）に置きます。
- 2 持ち球は1人6球で、同じ投球者が6球連続して投げ、投げ終わった時点でのボールの位置により得点を決めます。それを2回繰り返して、合計得点をその投球者の得点とします。
- 3 個人戦は障がいの種類（身体、知的、重複）と年齢（小学部、中学部、高等部以上）によって9つの部門に分けて順位を決定します。
- 4 試合の開始前に所属チームごとに3分間の練習時間を取ります。

### (団体戦について)

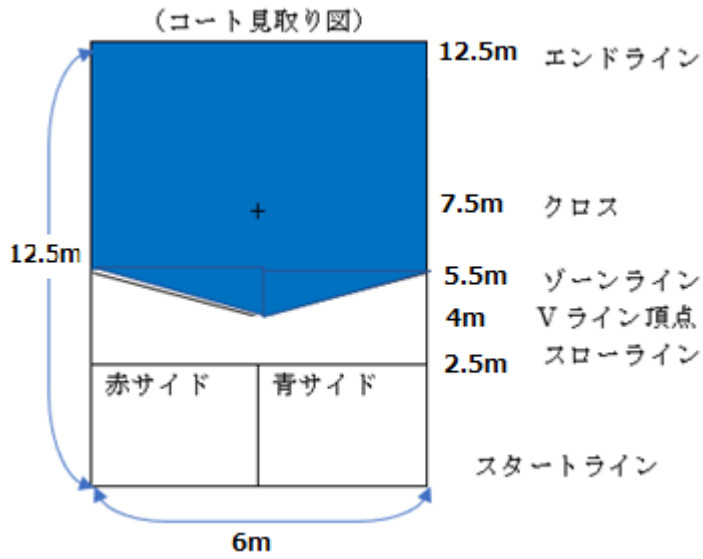
- 1 1チーム3～4人で構成される。エンド毎にメンバーや投げる順番を変えても良いが、全員が必ず1エンドは出場する。
- 2 1試合4エンドで行う。
- 3 1エンドで使うボールは6球で3人が2球ずつ投球する。
- 4 試合の開始時点で、代表者がジャンケンを行い、勝ったチームがサイド（赤：左側、青：右側）を選び、第1エンドのジャックボール（白いボール）を投げる権利は赤サイドを選んだチームが得る。以後、ジャックボールはチームが交互で投げる。ジャックボールもそれ以外のボールも、自チームのスローラインの後ろならどこから投げても構わない。
- 5 ジャックボールはゾーンラインより先の有効エリア（下コート見取り図青色部分参照）に投げなくてはならない。ここまで届かなかった、あるいはここから出た場合はジャックボールを投げる権利は相手チームに移る。それでも範囲外に出た場合、クロス（+）地点にジャックボールを置く。その際、最初にジャックボールを投げたチームから先にボールを投げる。
- 6 2投目以降はジャックボールに遠い方のチームが投げる。
- 7 投球者が投球の際に足あるいは車いすの車輪がスローラインに触れるあるいは踏み越した場合、そのボールはアウトボールとなる。
- 8 ジャックボールがコートの外に出た場合、クロス地点に戻します。
- 9 ボールがラインテープに触れた場合、アウトボールとみなします。
- 10 コートの広さはチャンピオンシップの部では正規コート（たて12.5m、よこ6m）、フレンドシップの部では正規コートのほぼ2/3（たて8m、よこ4m）の広さとし、下図のようなラインをテープで示す。なお、コートの外に出たボールはアウトボールで、得点には関係がない。
- 11 得点は相手チームよりもジャックボールに近いボールがいくつあるかで決める。もし、双方のチームの最もジャックボールに近いボールの距離が全く同じときは、双方にボール1つにつき1点を与える。1試合の総得点が多いチームを勝ちとする。同点の場合、引き分けとする。
- 12 順位は①勝ち数②総得点数で決める。
- 13 自力でボールを投げられない人は、補助具を使うことができ、また介助を受けることができますが、介助者はゲーム中コート内を見てはいけません。
- 14 試合の開始前に3分間の練習時間を取ります。
- 15 午前中の個人戦の得点をチームごとに合計し、チームの平均得点をもとに、障がいの種類や年齢に関係なく、同等の技量をもったチーム4～6チームを同じブロックとし、そのチーム間の総当たり戦（リーグ戦）を行います。

(八角的)

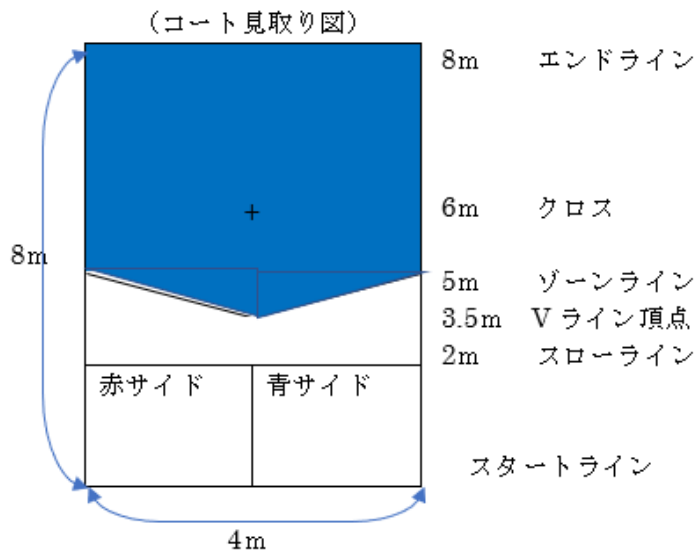


緑ゾーン	直径 183cm	得点 1 点
黄ゾーン	直径 90cm	得点 2 点
赤ゾーン	直径 36cm	得点 3 点

<チャンピオンシップの部>



<フレンドシップの部>



別紙

申込用紙

チーム名 ( ) 部門 (チャンピオンシップ フレンドシップ) の部

役割	氏名	性別	学年(年齢)	所属	連絡先(携帯)
選手1					/
選手2					
選手3					
選手4					
監督					
備考	個人戦のみご希望の方はこちらに○を書いてください。 ( )				
その他	留意事項・要望事項などあればお書きください。				

※部門についてはどちらかに○をおつけ下さい。

チーム名 ( ) 部門 (チャンピオンシップ フレンドシップ) の部

役割	氏名	性別	学年(年齢)	所属	連絡先(携帯)
選手1					/
選手2					
選手3					
選手4					
監督					
備考	個人戦のみご希望の方はこちらに○を書いてください。 ( )				
その他	留意事項・要望事項などあればお書きください。				

※部門についてはどちらかに○をおつけ下さい。